

2023年11月期 決算説明会資料

アステナホールディングス株式会社
(東証プライム市場:8095)



令和6年能登半島地震に被災された皆様へ

令和6年能登半島地震で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

当社として、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げますとともに、できる限りの支援を行ってまいります。

令和6年能登半島地震からの復興に向けた支援活動

● 直近の支援活動

- アステナホールディングス(株)珠洲本社に保管していた災害備蓄品を被災者に提供し水や燃料不足の地域に向けては、緊急物資を提供。
- 支援に必要な作業場所や、PC・Wi-Fiルーター・スマートフォンなどの通信機器の提供など、災害ボランティアグループの支援。

● その他災害支援の動き

- 当社グループ会社「奥能登SDGs投資事業有限責任組合」が義援金口座を開設し、投資先その他ベンチャー企業向けに募金活動を開始。

北國銀行 東京支店 0059594
「BPキャピタル のとファンド義援金口」

- 01 2023年11月期 決算概況
- 02 業績予想・中期経営計画・配当方針
- 03 社長交代のお知らせ

01 2023年11月期 決算概況

02 業績予想・中期経営計画・配当方針

03 社長交代のお知らせ

2023年11月期 決算概況

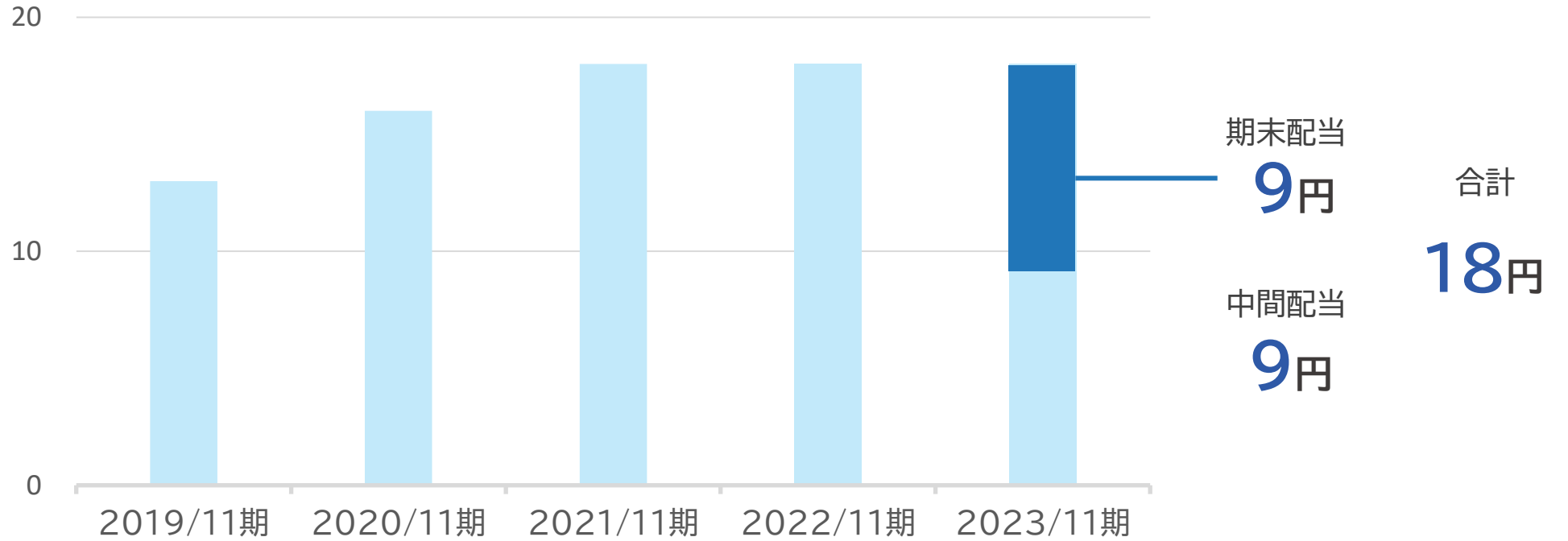
| | 当期実績 | 前期実績 | 前年同期比 (増減率) |
|---------------------|----------|----------|----------------------|
| 売上高 | 519.8 億円 | 496.3 億円 | +23.5 億円 (+4.7%) |
| 営業利益 | 11.2 億円 | 8.1 億円 | +3.1 億円 (+37.6%) |
| 経常利益 | 13.6 億円 | 8.8 億円 | +4.8 億円 (+53.7%) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 11.6 億円 | 5.7 億円 | +5.9 億円 (+100.6%) |
| E B I T D A | 33.3 億円 | 29.3 億円 | +4.0 億円 (+13.7%) |

2023年11月期 セグメント別業績

| | | 当期実績 | 前期実績 | 前年同期比 |
|------------------|------|----------|----------|----------|
| ファインケミカル 事業 | 売上高 | 160.5 億円 | 146.3 億円 | +14.2 億円 |
| | 営業利益 | 1.5 億円 | 2.4 億円 | △0.9 億円 |
| HBC・食品事業 | 売上高 | 140.5 億円 | 139.7 億円 | +0.8 億円 |
| | 営業利益 | 3.2 億円 | 1.4 億円 | +1.8 億円 |
| 医薬事業 | 売上高 | 132.5 億円 | 117.5 億円 | +15.0 億円 |
| | 営業利益 | 5.7 億円 | 3.9 億円 | +1.8 億円 |
| 化学品事業 | 売上高 | 85.9 億円 | 92.7 億円 | △6.8 億円 |
| | 営業利益 | 0.7 億円 | △1.5 億円 | +2.2 億円 |
| ソーシャル インパクト事業 | 売上高 | 0.1 億円 | 0.0 億円 | +0.1 億円 |
| | 営業利益 | △1.0 億円 | △0.4 億円 | △0.6 億円 |

2023年11月期 配当金

一株当たり
配当額(円)



ファインケミカル事業

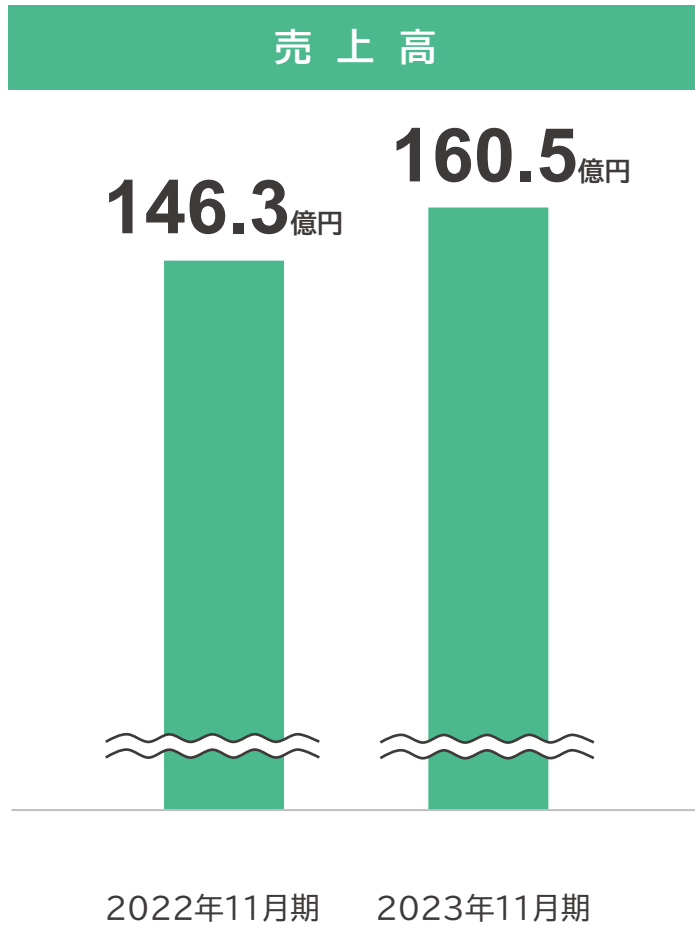
Fine Chemical Segment

ファインケミカル事業担当 二神 英祐



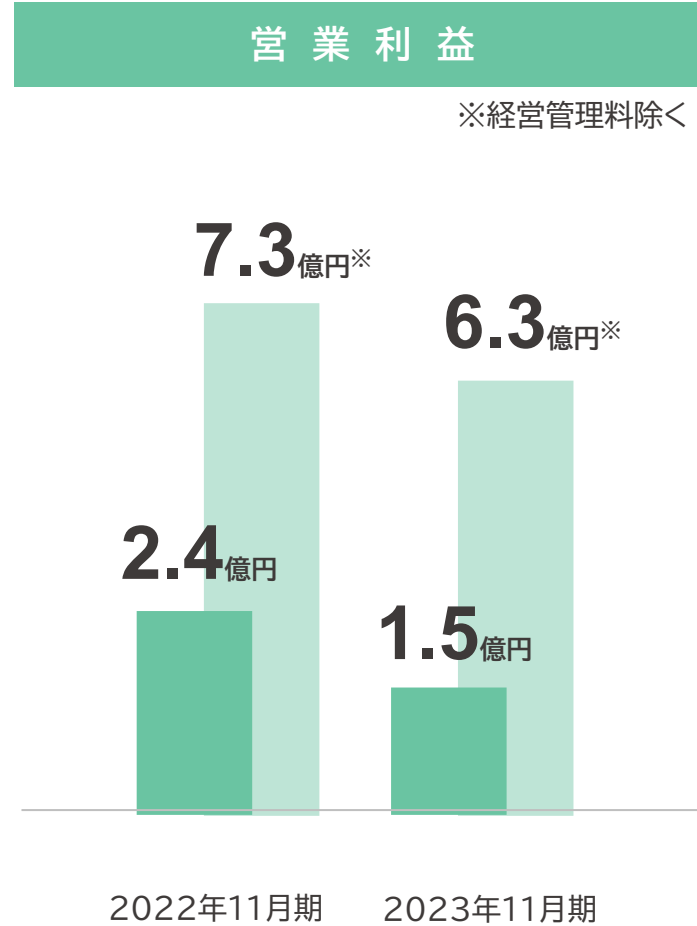
2023年11月期 実績

売上高



営業利益

※経営管理料除く



2023年11月期 各施策の実績

CDMO部門

事業の可視化と 整流化

稼働率/案件効率+5%以上継続

付加価値増による受注案件の単価向上

重点顧客の受注額 通期+30%

CMCサービス 機能の強化

研究開発人員+10名、新卒採用活動再開

Novo Nordisk社と独占的製造ライセンス契約による
中分子プロセス開発業務の順調な推移

事業内の 連携強化

高薬理活性溶液注射剤設備2023年11月稼働開始
(岩城製薬佐倉工場株)

原薬及び原薬の中間体の製法開発等で協業、製造開始

2023年11月期 各施策の実績

医薬品原料部門

| | |
|--------------|---|
| 高付加価値化 | 原薬及び原薬の中間体の製法開発、製造開始 |
| ニューモダリティへの展開 | JITSUBO(株)との協業によるペプチド基幹原料TAGB(Tag)の納入完了 |
| 既存事業の最適化 | オペレーション改善効果+5%維持 |
| | 差別化輸入製剤5品目のプロモーション開始 |
| | 原価上昇トレンド化においても粗利益率+8%を維持 |

HBC・食品事業

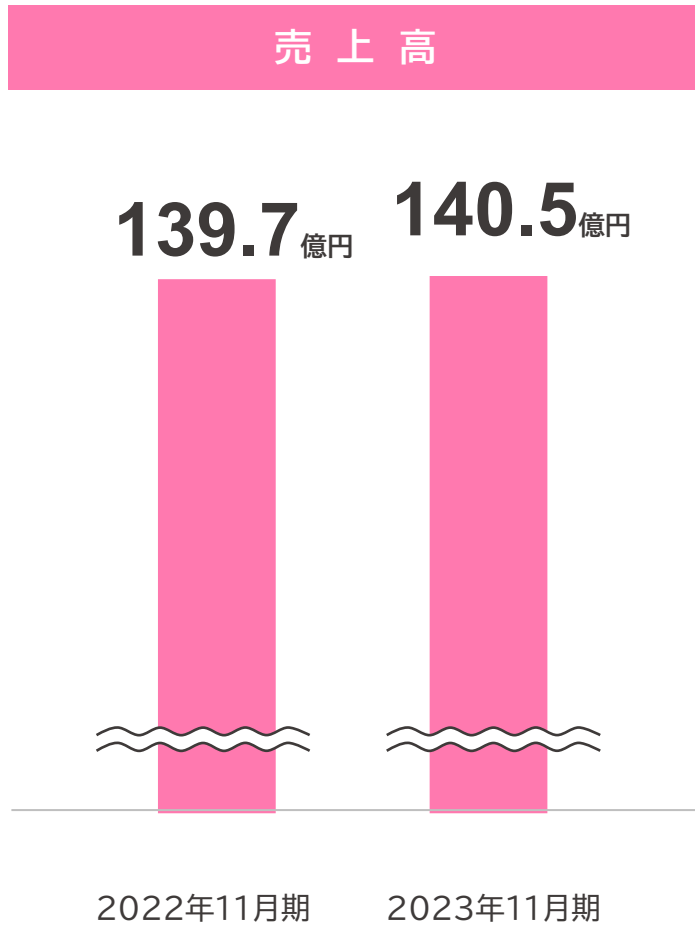
Health & Beauty Care , Food Segment

HBC・食品事業担当 門倉 稔



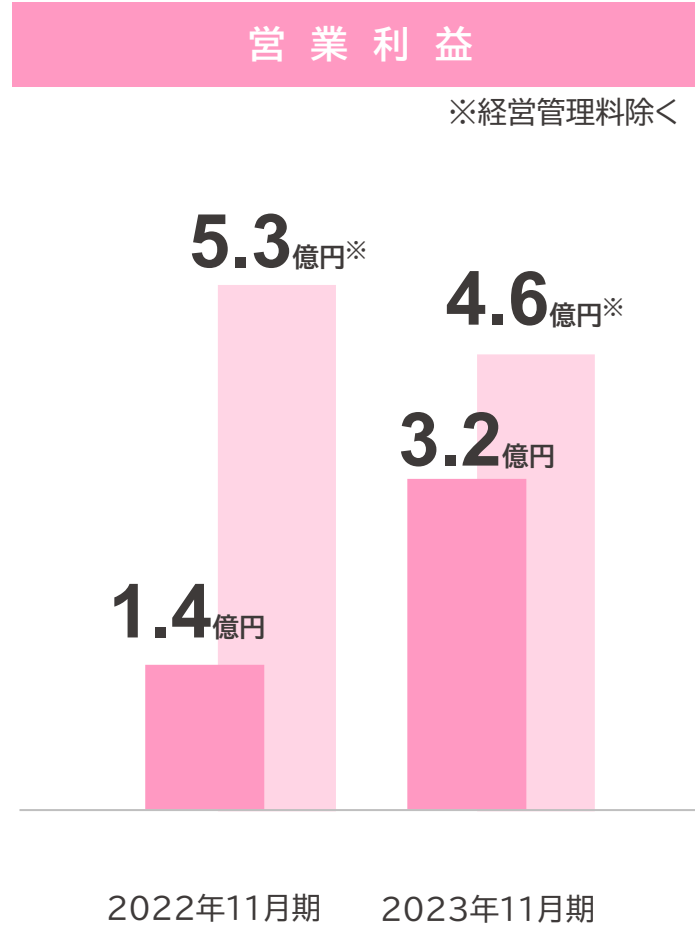
2023年11月期 実績

売上高



営業利益

※経営管理料除く



2023年11月期 各施策の実績

BtoB

食品原料プラットフォーム構築

原料検索プラットフォーム“i-Platto”のユーザー増加策を推進

企画・開発機能強化

一般食品向けに機能性食品を企画提案 売上高 約50%アップ

営業サポート体制強化

新規獲得額増加 売上高 約50%アップ

HPコンテンツ充実化

薬事申請代行のWEBコンテンツ充実化によりリード獲得数増加

BtoC

デジタル化による基盤強化

CRM/BIツールを導入完了、D2C新規ブランド立上げ

基幹システム導入

最適なシステムの導入検討に着手

医薬事業

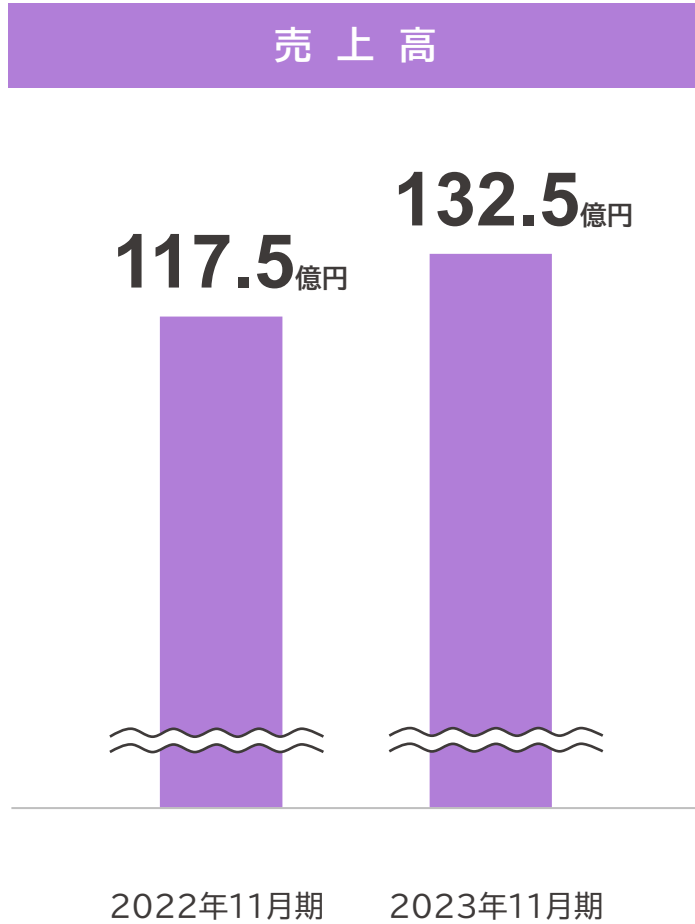
Medical Segment

医薬事業担当 岩城 慶太郎
岩城製薬(株)代表取締役社長 西村 泰輔



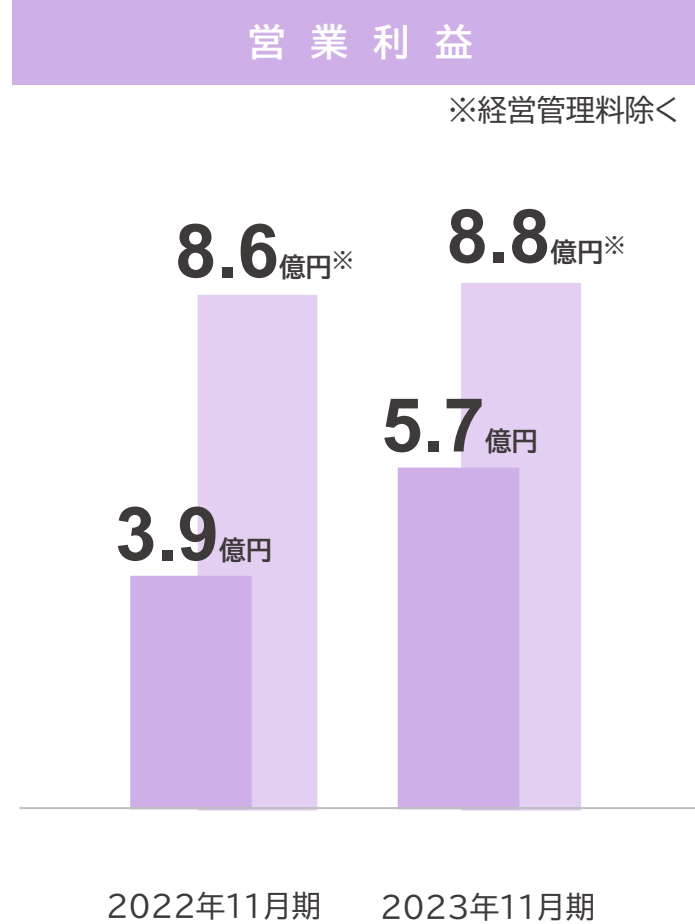
2023年11月期 実績

売上高



営業利益

※経営管理料除く



2023年11月期 各施策の実績

| | |
|------------------|--|
| 既存品拡販と 薬価改定対策 | 営業DX化が完了 新製品ルリコナゾール軟膏・クリーム 通期売上計画対比1.8倍 |
| | 長期収載品5品目製造販売承認を承継 |
| | 不採算品再算定 複数品目指定 2024年度に向けて複数品目提出中 |
| 新製品開発 | (株)キノファーマとの共同開発において第Ⅱ相臨床試験進行中 |
| | 2023年8月に 自社開発新製品メイククレンジングクリーミージェルを発売 |

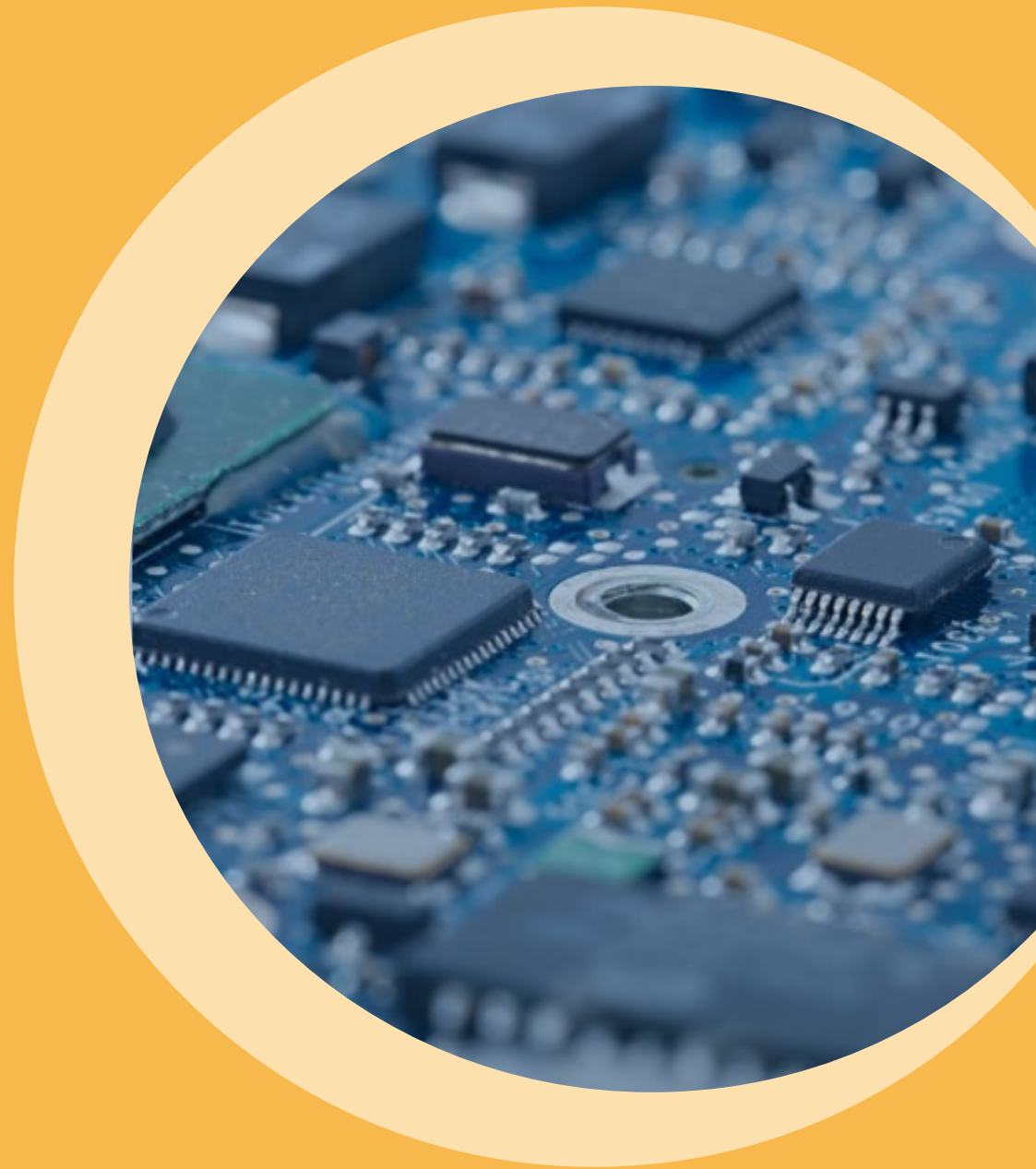
2023年11月期 各施策の実績

| | |
|----------|--|
| CDMO事業拡大 | 高薬理活性溶液注射剤ラインの立ち上げ完了 2023年11月稼動開始 |
| | 新たに検査受託・包装受託3件獲得、固形剤治験薬受託1件、 元素不純物試験受託(岩城製薬株・前田薬品工業株など) |
| | 固形製剤ライン改修工事開始、主要製造設備の発注完了 |
| 工場生産改革 | 第2クール終了、第3クールへ準備開始 |
| | 太陽光発電設備導入による電力費削減 2023年3月～11月の実績:29万kwh(電力費換算5.8百万円) |
| SX戦略 | 上期下期で全2回、エンゲージメント調査を実施 |

化学品事業

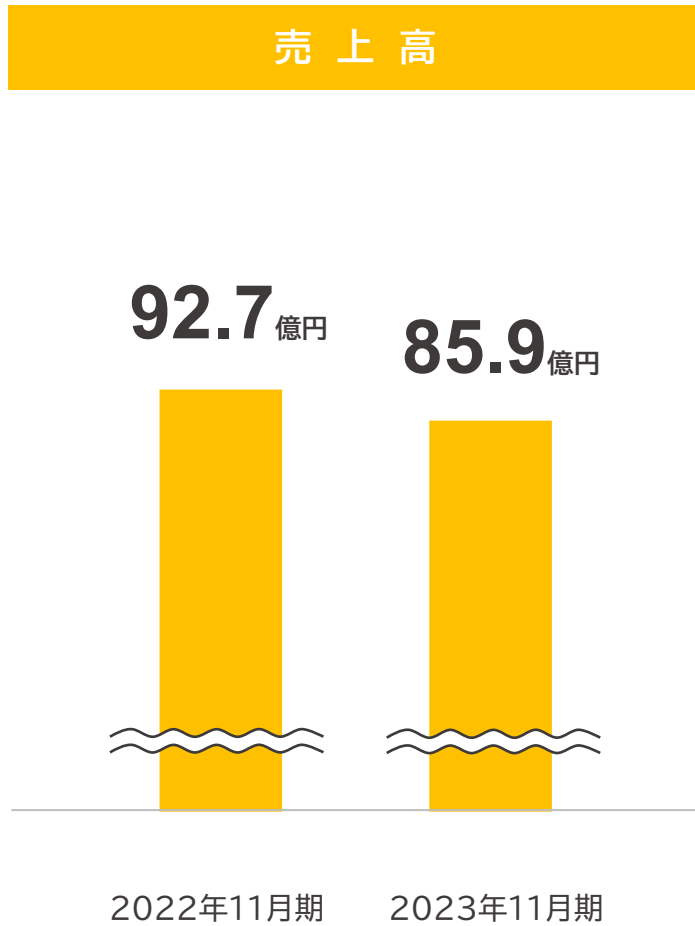
Industrial Chemicals Segment

化学品事業担当 古橋 勝美



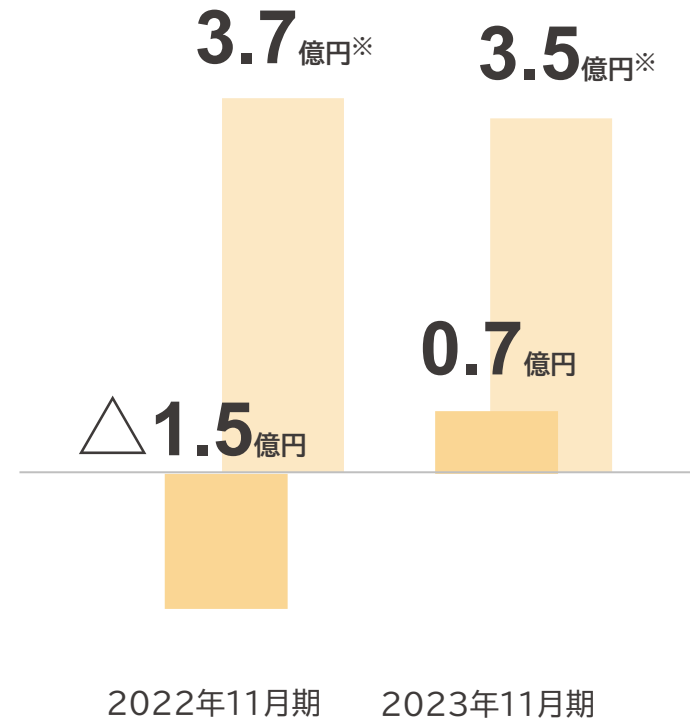
2023年11月期 実績

売上高



営業利益

※経営管理料除く



2023年11月期 各施策の実績

表面処理薬品部門

| | |
|--------|--|
| プリント基板 | 海外大手半導体メーカーの現認定維持 新規指定獲得のために新製品開発中 |
| 電子部品 | すず薬品用自動分析装置の開発完了 |
| 半導体 | 12inchウェハ対応めっき装置の開発はほぼ終了 競合他社に対する優位性をアピール |
| 新規市場 | EV用銅めっき添加剤の開発進行中 極薄銅箔による蓄電量増を目指す |

表面処理設備部門

| | |
|------------------|---|
| 水平搬送 スプレーシステム | 数年間の増設により生産キャパシティ50%アップ 受注量を順調に増やせており売り上げも好調維持 |
| 既存事業の最適化 | 新製品の仕様の検証を行っている |

ソーシャルインパクト事業

Social Impact Segment

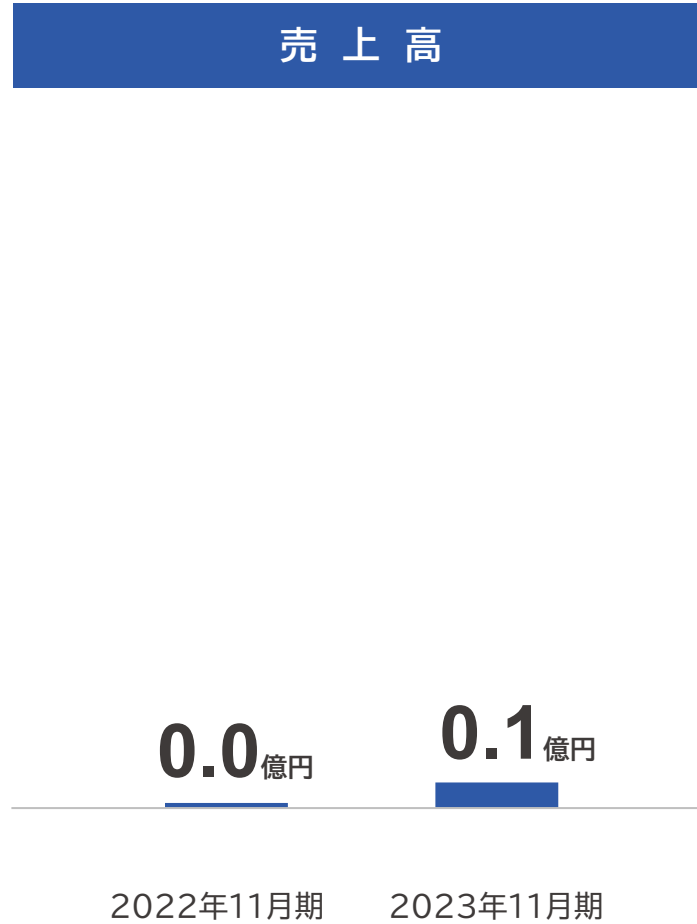
(その他事業)

ソーシャルインパクト事業担当 清水 雅楽乃



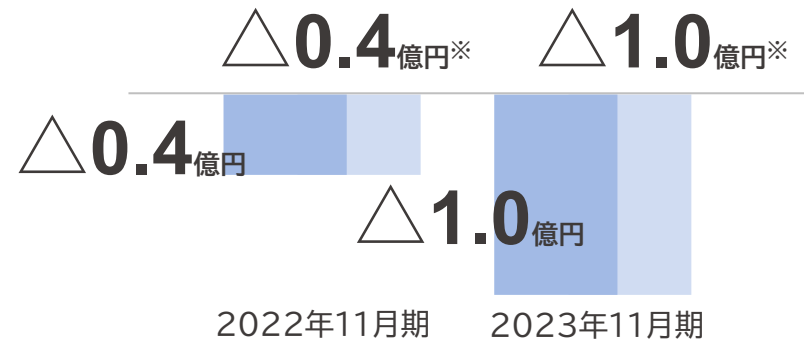
2023年11月期 実績

売上高



営業利益

※経営管理料除く



2023年11月期各施策の実績

ヘルスケア部門

| | |
|--------------------|--|
| ナチュラルヘルス ケアブランド | 伝統職人が作る菊炭や酒かすのスキンケア素材としての検証 |
| | 奥能登の素材と自然の恵みを生かすブランドコンセプトの設計と商品開発 |
| | 菊炭や酒かす使ったフェイスマスク、ナチュラルソープ、能登ヒバスプレーの発売準備※2024年2月中旬に販売予定 |
| ラフマ | 能登ラフマ茶の販売を2023年8月に開始 |

循環型農業・畜産部門

| | |
|-----|---|
| 有機米 | のとSDGsファンド投資先のアグリテックを実装し、特別栽培米(有機米)販売開始 |
| 日本酒 | 自社ブランド日本酒「桃花鳥」の販売開始 |

2023年11月期各施策の実績

人材部門

イシカワズカン

求人企業掲載16社、その他記事掲載(地元の情報発信)88件
石川県内向け福利厚生サービスリリース

自治体部門

ふるさとNOW

現地決済型ふるさと納税「ふるさとNOW」の導入自治体33件
導入施設80件

その他

のとSDGsファンド

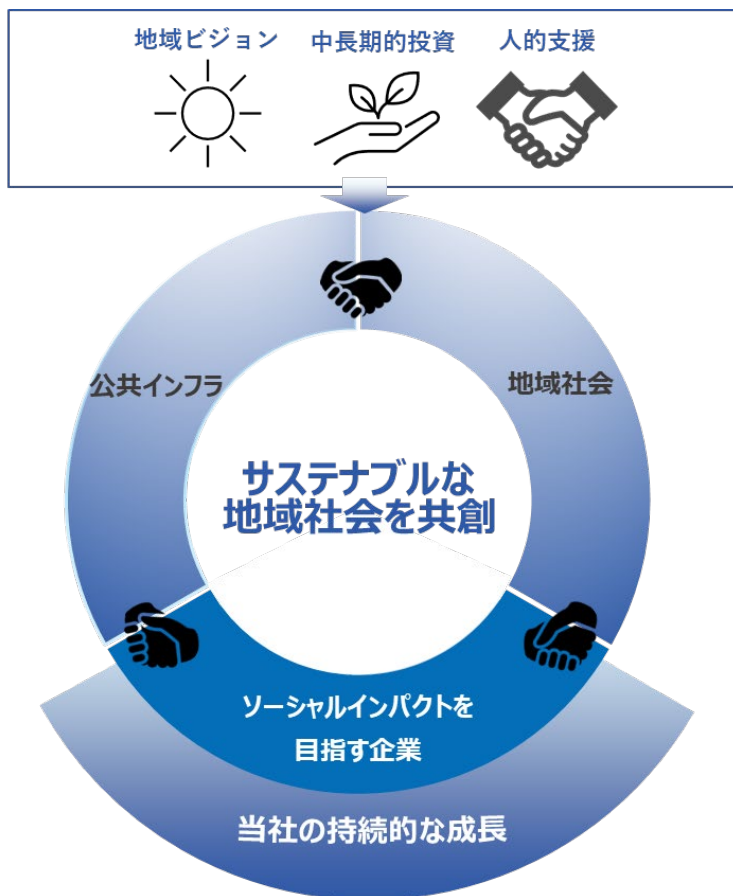
投資2件実行し、トータル13銘柄に投資

TUATファンド

2023年6月に1号案件(循環型畜産事業)への出資
2号案件(中分子事業)への出資検討※2023年12月出資済

令和6年能登半島地震からの復興に向けた中長期的な支援活動

ソーシャルインパクト戦略のもと、中長期的な視点で投資を行う



地域事業者再建に向けた支援
地域社会再建に向けた支援

+

自社及び当社関連のファンド等を通じた中長期的な投資

珠洲オフィスをサステナビリティ拠点とし
社会貢献活動含む人的支援

当社グループと地域が
一緒に繁栄する地域社会を築く

※支援内容は状況に応じて追加・変更を行う可能性があります。 | 27

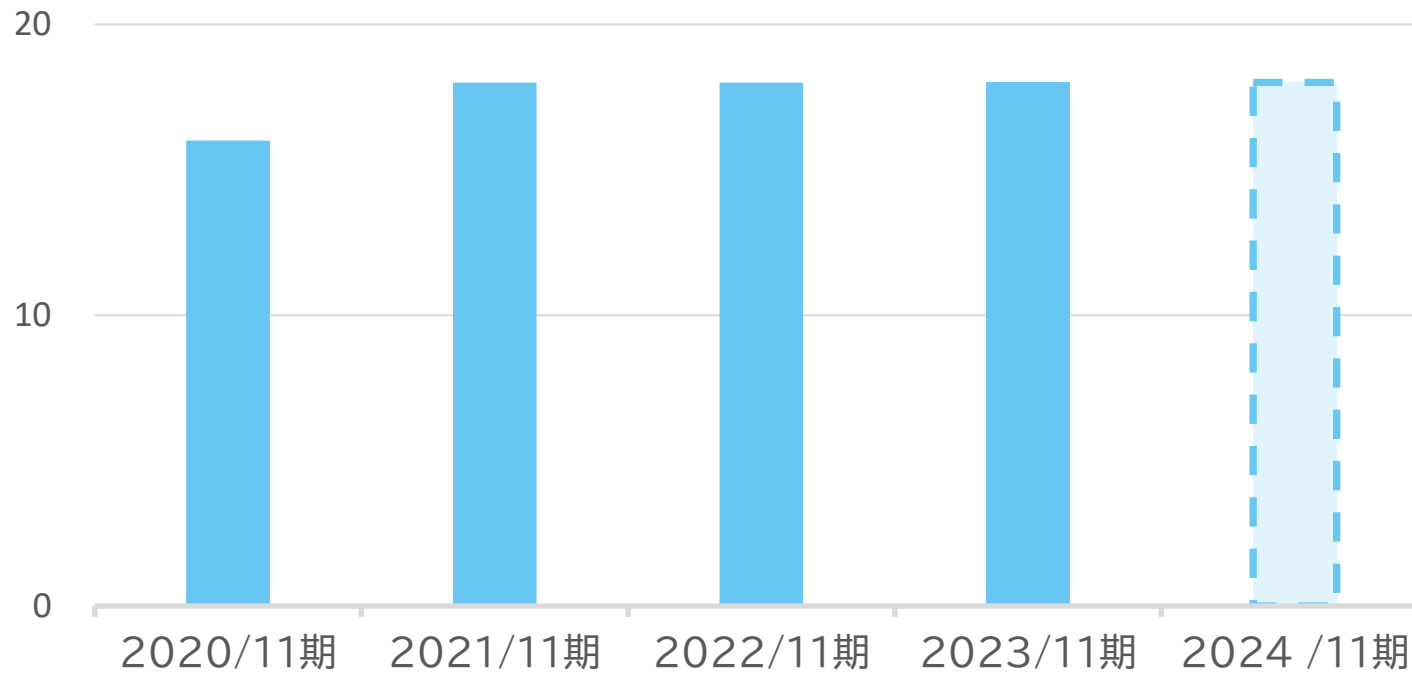
- 01 2023年11月期 決算概況
- 02 業績予想・中期経営計画・配当方針**
- 03 社長交代のお知らせ

2024年11月期業績予想・中期経営計画

| | 2023年11月期実績 | 2024年11月期予想 (前年同期比) | 2026年11月期目標 |
|---------------------|-------------|------------------------|-------------|
| 売上高 | 519.8 億円 | 560.0 億円 (+40.2億円) | 640.0 億円 |
| 営業利益 | 11.2 億円 | 11.5 億円 (+0.3億円) | 30.0 億円 |
| 経常利益 | 13.6 億円 | 11.5 億円 (△2.1億円) | — |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 11.6 億円 | 6.9 億円 (△4.7億円) | — |

2024年11月期 配当予想

一株当たり
配当額(円)



期末配当

9円

中間配当

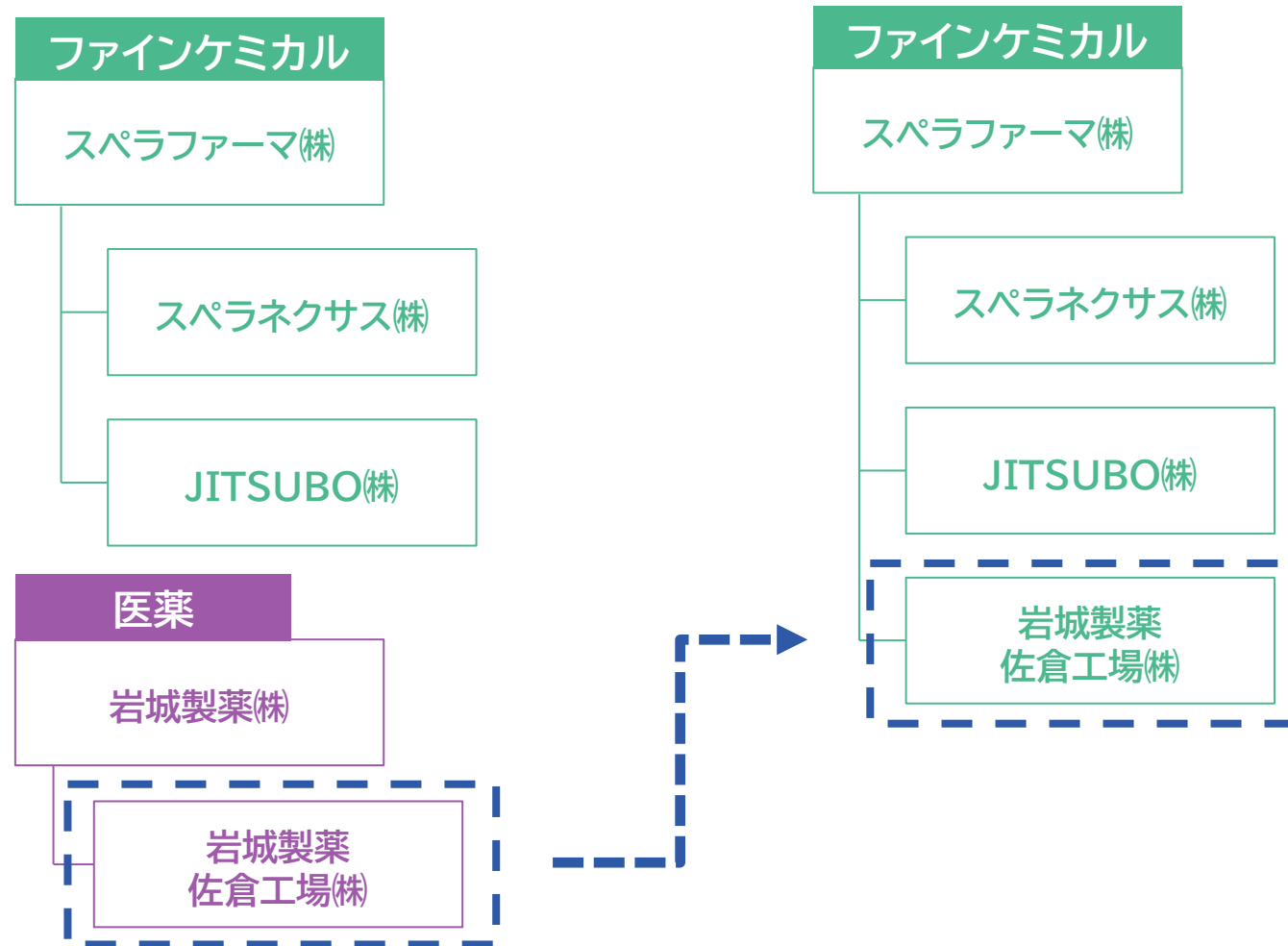
9円

合計

18円

セグメント変更のお知らせ

岩城製薬佐倉工場(株)を医薬事業からファインケミカル事業へ



- 01 2023年11月期 決算概況
- 02 業績予想・中期経営計画・配当方針
- 03 社長交代のお知らせ

社長交代のお知らせ

2024年2月に就任予定の代表取締役社長のご紹介



せとぐち さとし
瀬戸口 智

- | | | |
|-------|----|-------------------------------------|
| 1995年 | 4月 | 当社入社 |
| 2011年 | 6月 | 当社アイメッド部長 |
| 2015年 | 2月 | 当社経営企画部長 |
| 2017年 | 6月 | 当社執行役員経営管理部長 |
| 2020年 | 2月 | 当社取締役常務執行役員 HBC・食品事業部長 兼 化粧品原料部長 |
| 2022年 | 1月 | 当社常務執行役員 |
| 2022年 | 2月 | イワキ(株)代表取締役社長 |
| 2023年 | 2月 | 当社取締役副社長(現任) |

アステナホールディングス株式会社(8095)

2023年11月期 決算説明会

本日はご視聴いただき、ありがとうございました。

- 本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれています。
- 後日の対応となりますが、追加の質疑がありましたらinfo_ir@astena-hd.comにて回答いたします。

お問い合わせ窓口

アステナホールディングス株式会社

企画財務部 企画グループ Tel:03-3279-0564